

児童会・生徒会代表者ミーティングの活動状況

資料2

第1回「いじめ防止市民フォーラム」生徒会発表内容			
中学校区	テーマ	テーマを選んだ理由	代表者が話し合った内容
加古川中学校区 (加古川中、加古川小、鳩里小)	一人ひとりを大切にできる学校をつくるための取組	●「楽しいと思える学校」「理解しあえる人間関係」をつくるためには、まず一人ひとりを大切にしていかなければならないと感じたため。 ●最近、SNS等インターネットで文字だけのつながりが増えてきている。相手の顔が見えないため、相手に気持ちが伝わりにくいことによるトラブルが増えてきているため。	●「相手を大切にしていこう気持ち」 相手を大切にすることを育てていく。 ●「ネット利用のルール」 メッセージを送る前に、もう一度言葉を確認し、スマホ等を使用する時間を決める。
中部中学校区 (中部中、野口小、野口南小)	お互いに理解しあえる人間関係をつくるための取組	●いじめをなくすためには、良い人間関係が必要であると感じたため。	●「いじめ追放宣言」 現在中学校で行っている「いじめ追放宣言」を基盤にしたいいじめをなくす取組を、中学校区内の小学校にも広げていき、活動を共有する。 ●「真心あいさつ運動」 中学校で取り組んでいる相手の目を見て、はっきりとあいさつをする「真心あいさつ運動」を小学校でも行い、中学校区内でいじめを許さない学校づくりを盛り上げていく。
浜の宮中学校区 (浜の宮中、尾上小、浜の宮小、若宮小)	お互いに理解しあえる人間関係をつくるための取組	●一人ひとりの良いところを見つけ、お互いに理解しあえることで、結果的に一人ひとりを大切にすることにつながり、学校も楽しくなると思ったため。	●「笑顔の花を咲かせよう 4校で満開の木を増やそう」 このスローガンのもと、いじめを許さない学校づくりの取組を進めていく。具体的には、花の形に切った紙に、読んだ人が嬉しくなるようなできごとを書いて掲示していき、木が満開になるよう、がんばっていく。
両荘中学校区 (両荘中、平荘小、上荘小)	一人ひとりを大切にできる学校をつくるための取組	●両荘中学校区では、児童・生徒の数が少なくなってきたことから、一人ひとりを大切にできる温かい中学校区にしたいと考えたため。	●「小中合同のあいさつ運動」 温かいあいさつができるよう、あいさつの仕方を伝えるとともに、たすきなどを使って活動を盛り上げ、中学校区であいさつ日本一を目指す。 ●「西日本豪雨災害の募金」 ●「救われた言葉・嬉しかった言葉集め」 温かい言葉が増えるように、救われた言葉や言われて嬉しかった言葉を集めて掲示する。
平岡中学校区 (平岡中、平岡東小、平岡北小)	一人ひとりを大切にできる学校をつくるための取組	●友だちの良いところを見つけることで、一人ひとりの個性が認められると考えたため。	●友だちを大切にできるように、ハートの形に切った紙に、友だちの良いところや感謝の気持ちを書き、みんなが見ることのできる場所に掲示していく。 ●友だちの良いところを発表したり、書いたものを見せ合ったりするなど、より活動が充実するように内容を工夫する。
氷丘中学校区 (氷丘中、氷丘小、氷丘南小)	お互いに理解しあえる人間関係をつくるための取組	●いじめをなくしていくためには、コミュニケーションが特に重要だと思ったため。 ●児童・生徒同士や、児童・生徒と教師の間でしっかりとコミュニケーションをとることで、大きないじめに発展することを防ぐことができると考えたため。	●「生徒とのあいさつ」 児童・生徒と先生との間のあいさつを強化する。この活動を通して、児童・生徒と先生との絆をさらに深める。 ●「異学年ペア活動」 小学校において、異学年とのペア活動を充実させる。児童同士の交流を活性化し、絆をつくっていく。 ●「キラキラさんカード」 友だちの良いところを掲示していくもので、友だち同士で理解と関係が深まると考えている。 ●「心のほっこりエピソード活動」 今年度から取り組んでいる心のほっこりエピソードの活動を充実させていく。
神吉中学校区 (神吉中、東神吉小、西神吉小、川西小、東神吉南小)	お互いに理解しあえる人間関係をつくるための取組	●理解しあえる人間関係づくり「特に大切にしたい活動」が多く、全ての学校で取り組んでいきたいと思ったため。	●「歌『絆』の利用」 「絆」をお昼の放送等、決まった時間にかけて、行事等で歌ったりしていきたい。 ●「いじめだめ！みんなであいさつに笑いたい！！」 このスローガンを広めるため、学校の掲示板や階段など、みんなが目にするところに貼っていく。 ●「あいさつ運動」 この運動をさらに充実させる。中学生が、自分の出身小学校に向かいあいさつするなど工夫したい。
山手中学校区 (山手中、八幡小、陵北小)	お互いに理解しあえる人間関係をつくるための取組	●それぞれの学校の良い部分とできていない部分を考えたときに、このテーマの取組にすれば、もっと良い学校づくりができ、いじめも少なくなっていくと考えたため。	●「あいさつ運動」 中学校区内で行っているあいさつ運動をより充実させていく。そのために、あいさつ当番をボランティア化し、全校生が1回ずつでもできるようにするとともに、あいさつ比べなど、みんなが楽しみながら活性化していくアイデアを考えていく。 ●「全校生が楽しめるような出し物の企画」 全校集会で全校生が楽しめるような出し物を考え、良い人間関係をつくっていく。
志方中学校区 (志方中、志方小、志方東小、志方西小)	お互いに理解しあえる人間関係をつくるための取組	●友だちのいいところポストをつくり、友だちの良いところを見つけ手紙にする活動を行う。文字にすることで、普段言えないことも言いやすくなり、自分も相手も笑顔になれる、仲良くできると考えたため。	●「友だちのいいところポスト」 週1回、全校生に友だちの良いところを書いてもらうように呼びかけ、友だちの良いところポストを利用してもらう。この活動を通して、学校が今よりも笑顔にあふれ、友だちとの絆を深められると考えている。その結果、困った相談できたり、困っている友だちがいたら声をかけたりすることにつながるのではないかと考えている。
平岡南中学校区 (平岡南中、平岡小、平岡南小)	全校生が楽しいと思える学校をつくるための取組	●いじめをなくす上で大切なことは、学校に来ることが楽しいと思えることだと考えたため。	●「仲間との交流を大切に いじめをなくそう」 このスローガンのもと、テーマに基づいた取組を活性化していく。具体的には、委員会の活動を基盤にして取り組んでいく。学校全体のテーマを決め、それに対して各委員会が独自の目標を設定し、これまであまり活動できていなかった委員会も活性化させ、学校を明るくしていく。
別府中学校区 (別府中、別府小、別府西小)	お互いに理解しあえる人間関係をつくるための取組	●中学校区での取組を整理した際、他のテーマについての取組は多かったのに対して、この取組はあまりなかった。そこで、このテーマに関する意識を深めていこうと思ったため。	●「あいさつ運動」 あいさつから人間関係を深めていく。あいさつ運動をより活性化させるため、各クラスを回ってあいさつをしたり、シールを渡したりすることで、全校生が意欲的に取り組めるよう工夫していく。 ●「褒め言葉のシャワー」 一人ひとりの良いところを発見し、褒め合うことで、良い人間関係を築いていく。例えば、クラス全員が一人に対して良いところを言っていく「褒め言葉のシャワー」のような時間をつくっていく。
陵南中学校区 (陵南中、神野小、野口北小)	一人ひとりを大切にできる学校をつくるための取組	●一人ひとりの意見を大切に、一人ひとりをもつ意見をしっかりと聞くことで、絶対にいじめを許さない学校につながると考えたため。	●「輝きBOX」 この取組を、中学校区内の学校に広げていく。「輝きBOX」は、中学校の生徒会が行っている活動で、生徒会に対する意見を自由に入れることができる箱で、一人ひとりの意見を聞くことを一番の目的としている。みんなの意見を大切にするという姿を全校生に示すことで、このテーマを深めていきたい。

教職員の支援
●児童会・生徒会の活動に合わせて、情報モラル教育の充実 ●全教職員が同一歩調で指導
●児童会・生徒会の活動時期に合わせて取組の充実(月目標、行事、道徳科の授業)
●オープンスクール時に活動写真等を掲示し、保護者に啓発 ●各学年、各校の取組を共有
●ユニット内で共通した取組が行えるように、情報共有の場の設定 ●児童会・生徒会の活動に合わせて学年行事、各委員会活動の実施
●ほかほかハート実施時期やメッセージ内容を取り入れた道徳科、特別活動の実施 ●学校行事に児童生徒のつながりを深める活動を設定
●「心ほっこりエピソード」を集めた学校だよりによる保護者啓発 ●学校全体で取組を共有できるような掲示板の活用等、環境整備 ●学校行事と関連付けた取組へと発展
●児童生徒だけではなく、保護者や地域への情報発信として、参観日等に合わせて、スローガンを掲示・活用 ●保護者に対して、児童会・生徒会活動を発表する場を設定
●全校生徒があいさつ運動に関わるような呼びかけ ●各校の取組を共有
●よいところ見つけの手紙を授業で活用 ●地域への協力依頼 ●活動を保護者、地域への発信
●児童生徒のアイデアを職員間で共有 ●異学年交流が活発になるような行事計画 ●児童会・生徒会だけでなく、部活動単位でも協力
●児童会・生徒会活動に学級・学年だけでなく、部活動も連携 ●活動の充実に向けて、道徳の時間との連携
●児童会・生徒会活動とリンクさせた授業づくり ●全校での取組となるよう職員間の共通理解

第1回「いじめ防止市民フォーラム」後の取組	
2学期以降の取組の実際	児童生徒の表れ
●スマホルールづくり ●スマホ利用に関する保護者アンケート ●いじめ追放ポスター	●人を傷つける言葉を使わないように気をつけた。 ●スマホ利用の時間を守るようになった。
●いじめ追放宣言 ●小中合同あいさつ運動	●新たな取組を自分たちが始めることに大変意欲的であった。 ●小中合同取組をすることに対して、楽しみにし、張り切って取り組んでいた。
●よいところ見つけ運動 ●いじめゼロ宣言 ●異学年交流活動	●他校の取組を知ることで、さらに意欲的になった。 ●異学年交流を楽しみにしていた。
●合同あいさつ運動 ●温かい言葉集め運動 ●小学校間の交流活動 ●中学生による地域ボランティア活動	●ユニットで行う活動に刺激を受け、意欲的になった。 ●小中の連携した活動を楽しみにしていた。
●ほかほかハート(よいところ見つけ) ●縦割り交流活動 ●放送や全校集会でよいところ発表	●よいところ見つけ運動を全校で実施していく中で、「自分もがんばろう」という声がよく聞かれるようになった。 ●縦割り活動で、普段交流のない児童生徒と交流でき、喜んでいった。
●「心ほっこりエピソード」を集めた劇の発表 ●「心ほっこりエピソード」をユニット内で共有 ●合同あいさつ運動	●ミーティングの開催が児童生徒の意欲向上につながり、主体的に活動を考えられるようになった。 ●エピソードを書くことで、自分自身の生活を振り返ることにつながった。
●合同あいさつ運動 ●歌「絆」を集会等で活用 ●スマホルールの見直し ●相談箱の設置 ●いじめ防止啓発ポスターの作成	●合同あいさつ運動によって、元気にあいさつできるようになった。 ●歌「絆」の歌を連れて歌う児童生徒が増えた。 ●保護者等の前で発表する中で、自分たちの活動のよさを実感でき、より主体的に取り組むようになった。
●合同あいさつ運動 ●児童生徒ボランティア活動 ●小中合同のほり作成	●あいさつ運動に参加してよかったと感じる児童生徒が増えた。 ●心の絆プロジェクトに児童会・生徒会以外の児童生徒も主体的に関わるようになった。
●よいところ見つけ運動 ●学校・家庭・地域合同あいさつ運動 ●花いっぱい運動	●認めてもらえて、喜びを感じる児童が増えた。 ●温かい言葉を意識して、使用する児童生徒が増えた。 ●活動に対して、積極的に取り組むようになった。
●集会で児童会・生徒会からのよびかけ ●異学年交流活動 ●各委員会ごとにテーマに基づいた取組を集会で発表	●自分たちで考え、主体的に動く活動になり、楽しさを感じている。 ●自分たちのアイデアが実現していくことに達成感を感じていた。
●あいさつ運動 ●集会時に劇による啓発 ●よいところ見つけ運動	●学級の課題を全校で共有することで、主体的に取り組むようになった。 ●生徒間の相談が増え、主体的に解決しようとするようになった。 ●休み時間に異学年交流が増えた。
●よいところ見つけ運動(輝きBOX) ●いじめ防止集会 ●いじめ追放宣言	●自分を認めてもらったり、友だちの良いところを見つけたことができて、喜んでいった。 ●児童会・生徒会が達成感を得ることができた。 ●児童生徒が真剣に考えて取り組めた。